

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		男女共同参画の推進		款	3	項	1	目	1	事業	14	整理番号	64				
担当部課名		区民生活部文化・交流・男女共同参画課		係名	男女共同参画推進担当		連絡先電話番号	3756		昨年度整理番号	63						
上位施策No・施策名										69	男女共同参画社会に向けた環境整備		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	3	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	7	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民、職員、各主管課															
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○男女平等や男女共同参画についての理解を深めます。 ○男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画を着実に実行します。															
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	○「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の策定、推進 ○区民懇談会で男女共同参画について区民意見集約 ○杉並区行動計画推進状況の調査															
根拠法令等		(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱															
活動指標名(式)		(1) 男女共同参画推進区民懇談会の開催回数 (2) 啓発品作成数															
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標															
成果指標名(1)		審議会等における女性委員の登用数															
算定式・指標の説明等																	
成果指標名(2)		啓発品配布数															
算定式・指標の説明等																	
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)							
指標	活動指標(1)	①	回	10	12	11	8	6	10	60.0	75.0						
	活動指標(2)	②	個	1,500	5,000	5,000	5,000	4,500	5,000	90.0	90.0						
	成果指標(1)	③	%	37.5	39.0	36.6	40.0	35.7	40.0	89.3	89.3						
	成果指標(2)	④	個	1,200	5,000	4,080	5,000	4,065	5,000	81.3	81.3						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,127	3,984	2,290	2,986	1,914	2,547	21年度予算執行率%		64.1					
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内) 委託費	⑦	千円	930	126	17	76	61	98								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.11 0.00	2.11 0.00	2.02 0.00	1.00 0.00	1.10 0.00	1.30 0.70	21年度は行動計画の改定がなかったため、事業費が減となりました。執行率については、当初、企業啓発の講師に著名な講師を予定していましたが、先進的な活動をしている身近な企業の社長に講師を依頼したため低く抑えられました。							
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	19,285	19,096	18,281	8,879	9,767				11,543				
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	1,955								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	23,412	23,080	20,571	11,865	11,681	16,045								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	2,341,200	1,923,333	1,870,091	1,483,125	1,946,833	1,604,500								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	23,412	23,080	20,571	11,865	11,681	16,045								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 64

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	啓発講座の実施、啓発用品の作成、購入等				936
	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査	1	回		455
	男女共同参画推進区民懇談会(本会議・推進部会)	6	回		341
	全国男女共同参画都市宣言サミット参加	1	回		137
	その他(調査研究)				45
(2)事業実績	男女共同参画を推進するため、区役所ロビー展示を充実させました。例年の男女共同参画週間の周知に加え、男女共同参画の発信基地でもある男女平等推進センターの施設や蔵書を紹介しました。また、区の男女共同参画の状況がデータで一覧できる「データにみる杉並の男女共同参画」を作成しました。21年度も全国男女共同参画宣言都市サミットに参加しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用数 平成4年 25.1%→平成22年 35.7% 「女性に対する暴力」相談件数 平成14年度 338件→平成21年度 445件 DVに関する社会的な関心の高まりなど社会状況の変化が、被害者の顕在化として相談件数に反映しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	男女共同参画は簡単には進まないが、繰り返しPRをしていくことが必要であり、真の男女共同参画社会をめざすため、区役所が見本となってほしいという意見が多くなっています。			
	今後の予測	まれにみる不況により雇用環境が悪化しています。失業者が増え、共働きを希望する世帯が増えています。男女を問わず生活を維持していくために、ワーク・ライフ・バランスが重要になっています。また、DVの相談件数は増えていくことが予想されます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	区の状況を調査研究し、それに基づき区民、団体、職員等に、男女平等に関する意識啓発や情報提供することにより、男女共同参画社会の実現を訴え続けることができます。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	「男女共同参画行動計画」の改定や推進状況調査報告書を策定する際、区民懇談会委員と協力しながら実施していきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	男女共同参画の推進という事業の性格上、受益者負担は適しません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	現在、既に必要最低限の経費で行っています。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[その他]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	区役所でのロビー展示や啓発用品、データ集の作成など、さまざまなPRを行いました。今後もさらに効果的なPRに努めます。 また、新しい行動計画に基づいて推進しているところですが、策定直後の不況や東京都配偶者暴力対策基本計画が示されたことにより見直しが必要な部分もありますので、区民懇談会の意見を参考に次期行動計画を策定します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	新しく策定された「男女共同参画社会をめざす行動計画」(21~22年度)に掲げられた課題の解決に向けて、男女共同参画を進めてきました。予算面では、22年度は行動計画の改定があるため、男女共同参画推進区民懇談会の回数が増えることによる委員謝礼や行動計画作成費用が増えています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	男女共同参画は短期間ですぐに効果の見えてくるものではありません。その必要性を繰り返し社会に訴え続けていくことが大切です。「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の期間である平成22年度までに掲げられた課題の解決に向けて努力し、男女共同参画社会をめざし行動計画を推進していきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	不況による社会環境の悪化で、労働強化によりワーク・ライフ・バランスが進めにくくなることが予想されます。また、生活不安などから人々の精神的な負担が大きくなり、DVが増えることも考えられます。不況下でもワーク・ライフ・バランスは必要な旨の啓発、DV防止に対する社会的啓発を進めていきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	24年度に改定する行動計画の基礎資料とするための実態調査を行うため、予算増が見込まれます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		男女平等推進センターの運営		款	3	項	1	目	1	事業	15	整理番号	65			
担当部課名		区民生活部文化・交流・男女共同参画課		係名	男女共同参画推進担当		連絡先電話番号	3756		昨年度整理番号	64					
上位施策No・施策名										69	男女共同参画社会に向けた環境整備		予算事業区分	既定事業		
事業開始		平成	▼	9	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	7	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区立男女平等推進センター条例 (2) 杉並区立男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○男女共同参画社会づくりに関する情報等の提供や、講座等の開催により、意識啓発を図ります。 ○女性団体等が講座等の企画運営に携わることにより、積極的な地域活動や団体育成を促進します。 ○女性相談者に対して、問題解決のための適切な指導・助言を行い、快適な生活を送るための手助けをしていきます。		活動指標名(式)		(1) 講座の開催回数 (2) 女性相談の日数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○男女共同参画社会をめざすことを目的とした啓発講座等の開催 ○男女共同参画に関する情報の収集・発信、区内の女性団体等の育成・交流の支援 ○女性の悩みごとに関する相談の実施 ○男女平等推進センターの維持管理		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民向け啓発講座受講者の延べ人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 配偶者等からの暴力についての相談件数 算定式・指標の説明等									
	区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
指標	活動指標(1)	①	回	9	15	9	15	10	15	66.7	66.7					
	活動指標(2)	②	日	304	305	305	305	306	305	100.3	100.3					
	成果指標(1)	③	人	208	300	321	300	296	300	98.7	98.7					
	成果指標(2)	④	件	262	250	355	250	367	350	104.9	146.8					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	25,223	27,772	23,809	23,115	19,566	21,602	21年度予算執行率% 84.6						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 相談事業の委託料の削減をしたため、事業費が減となりました。 執行率については、施設保守管理・受付管理業務委託落札差金によるものです。						
	(内)委託費	⑦	千円	21,099	22,484	20,598	18,306	16,637	17,375							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.30 0.00	1.00 0.00	1.04 0.00	1.00 0.00	1.09 0.00	0.60 0.40							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	11,882	9,050	9,412	8,879	9,678			5,327				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			1,117				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	37,105	36,822	33,221	31,994	29,244	28,046							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	4,122,778	2,454,800	3,691,222	2,132,933	2,924,400	1,869,733							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0				
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	37,105	36,822	33,221	31,994	29,244	28,046							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 65

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2)事業実績	21年度、委託講座は区民向け啓発講座5テーマ、10回の講座を実施しました。委託講座は区民の男女共同参画意識向上のみならず、受託し、企画・運営する団体の育成という意味もあります。また、子ども家庭支援センターとの共催で女性の就職活動に関する講座を実施しました。相談業務は土・日・祝日も実施しており、不安を抱える女性たちの身近な相談窓口となっています。	相談業務委託	306
		施設保守管理委託	306	日	5,404
		光熱水費			611
		講座の開催	5	講座	1,121
		その他 ()			2,430
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用数 平成4年 25.1%→平成22年 35.7% 「女性に対する暴力」相談件数 平成14年度 338件→平成21年度 445件 DVに関する社会的な関心の高まりなど社会状況の変化が、被害者の顕在化として相談件数に反映しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設が最寄駅から離れてわかりづらいため、わかりやすい案内表示などの要望が寄せられています。			
	今後の予測	社会情勢を反映して就職活動やワーク・ライフ・バランス、子育てとの両立支援などをテーマとした講座に関心が寄せられることと思われます。また、DVなどの深刻な相談が増えていくことが予想されます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)		男女共同参画の実現に向けて、講座等による啓発、情報の提供、団体活動への支援等は必要である。女性相談については、多岐にわたる内容に専門の相談員が助言・指導を行い女性の悩みごとの解決に貢献しています。		
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		講座等の事業については、区民・団体等との協働により、引き続き実施していきます。専門の相談機関に委託したことにより、資質の高い相談員を配置し、専門性の高い相談業務を継続していきます。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		事業の性質から、受益者負担は困難です。		
		現在、既に必要最低限の経費で行っています。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		講座に対する受講者の満足度は高く、一定の受講層は定着しています。一方、受講者の少ない講座もあり、集客が課題となっています。 また、相談業務は、さまざまな資格を持つ経験豊富な相談員による相談を行っており、相談者の満足度は高くなっています。一方、相談窓口としての知名度が低いいため、PRに努めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 講座の委託先を公募しました。 男女共同参画週間にあわせ、区役所ロビーで男女平等推進センターの紹介パネルを展示し、PRしました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区公式ホームページの、男女平等推進センターのページを活用し、相談機関のリンクを貼るなど、必要な情報を得やすいページづくりをします。 男女平等推進センターの乳幼児室のPRのため、併設の児童青少年センターへポスターを貼り周知します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 最寄りのバス停から少々歩くため、利用率が伸び悩んでいます。広報によるPRのほか、区民向け講座の会場を男女平等推進センターにするなどして、より多くの区民への周知を図るようにしていきます。図書コーナーや交流コーナーのPRに努め、利用率の向上に取り組みます。	
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	予算の効率的な執行に努めていきます。